

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年 1月15日

計画の名称	能代市の防災・減災・安全な市街地の実現		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	能代市
計画の目標	能代市生活排水処理整備構想に基づいた事業を推進し、安全・安心な住環境を実現するとともに、良好な環境を創造する。 市民が良好な生活環境を確保するため、下水道施設の計画的かつ効率的な管理を実施することにより施設の長寿命化を図る。		

計画の成果目標(定量的指標)	<p>①水質保全のため、継続的で安全な運転管理の保持のため、能代市下水道長寿命化計画(能代市)に基づく再構築率を0.0%(H21)から44.7%(H26)に増加させる。</p> <p>②老朽化等に起因した日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止するため、中川原中継ポンプ場(合流ポンプ施設、ゲート施設等)再構築進捗率を15.8%(H21)から100.0%(H23)に増加させる。</p> <p>③老朽化等に起因した日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止するため、中川原中継ポンプ場(受変電設備)の長寿命化計画策定率を0.0%(H21)から100.0%(H26)に増加させる。</p> <p>④管路施設の老朽化等に起因した道路陥没による市民生活への支障を回避するため、合流区域における管渠の調査(長寿命化計画を策定するため)実施率を0.0%(H21)から100.0%(H26)に増加させる。</p> <p>⑤集中豪雨等に起因する鉄蓋の外れや、摩耗等によるスリップ事故等を回避するため、緊急箇所マンホール鉄蓋更新達成率を0.0%(H21)から100.0%(H24)に増加させる。</p>
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考			
	当初現況値	中間目標値	最終目標値				
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)				
①能代終末処理場における長寿命化計画に基づく再構築率(小分類単位) 長寿命化計画に基づく再構築済施設数(施設)／長寿命化計画に基づく再構築予定施設数(331施設)	0.0 %	0.0 %	44.7 %				
②中川原中継ポンプ場(合流ポンプ施設、ゲート施設等)における再構築率(中分類単位) 再構築済施設数(施設)／再構築予定施設数(247施設)	15.8 %	100.0 %	100.0 %				
③中川原中継ポンプ場(受変電設備等)における長寿命化計画策定率(小分類単位) 長寿命化計画策定済施設数(施設)／長寿命化計画を策定すべき施設数(19施設)	0.0 %	0.0 %	100.0 %				
④合流区域における管渠の調査(長寿命化計画を策定するため)実施率 合流区域における管渠のうち、調査(長寿命化計画を策定するため)を実施した延長(km)／合流区域における管渠の延長(45km)	0.0 %	37.8 %	100.0 %				
⑤合流区域マンホール鉄蓋の更新達成率 更新したマンホール鉄蓋数(個)／更新すべきマンホール鉄蓋数(300個)	0.0 %	100.0 %	100.0 %				
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,539 百万円 1,507 百万円	A 1,478 百万円 1,445 百万円	B 0 百万円 0 百万円	C 61 百万円 61 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	4.0% 4.1%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
能代市下水道事業担当課により事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を実施。	計画期間終了後(平成27年1月)
	公表の方法
	能代市のホームページにて掲載する。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-2	下水道	過疎	能代市	直接	能代市	アセットマネジメント導入検討	処理場1箇所、ポンプ場2箇所のアセットマネジメント導入検討	能代市						23.30 23.30	
1-A1-6	下水道	過疎	能代市	直接	能代市	能代終末処理場水処理施設再構築(水質保全)	管理棟(建築部耐震含む)及び水処理第1系列の長寿命化(5,900m ³ /日)	能代市						726.30 702.30	長寿命化
1-A1-7	下水道	過疎	能代市	直接	能代市	能代終末処理場水処理施設再構築(水質保全)	管理棟及び水処理第2系列の長寿命化(5,900m ³ /日)	能代市						3.00 3.00	長寿命化
1-A1-8	下水道	過疎	能代市	直接	能代市	能代終末処理場汚泥処理施設再構築(水質保全)	汚泥処理棟(建築部耐震含む)及び汚泥処理No.1濃縮槽の長寿命化	能代市						288.70 280.70	長寿命化
1-A1-9	下水道	過疎	能代市	直接	能代市	能代終末処理場汚泥処理施設再構築(水質保全)	汚泥処理棟、汚泥処理第1・2系消化槽及び脱水設備の長寿命化	能代市						2.00 2.00	長寿命化
1-A1-11	下水道	過疎	能代市	直接	能代市	中川原中継ポンプ場再構築(地震対策)	合流ポンプ(7.2m ³ /min=3台)及び流入ゲート(1.1*1.1m=1門、0.8*0.8m=2門)の再構築	能代市						195.70 195.70	
1-A1-12	下水道	過疎	能代市	直接	能代市	中川原中継ポンプ場長寿命化計画策定(地震対策)	受変電設備	能代市						2.50 2.50	長寿命化
1-A1-14	下水道	過疎	能代市	直接	能代市	合流区域管渠点検、長寿命化、改良(地震対策)	合流管 φ350~2,400mm L=20km 合流管 φ350~2,400mm L=8.2km	能代市						146.10 145.50	長寿命化
1-A1-15	下水道	過疎	能代市	直接	能代市	合流区域のマンホール蓋更新(地震対策)	マンホール鉄蓋更新 N=300個 マンホール鉄蓋更新 N=204個	能代市						90.30 90.30	
合計												1,477.90 1,445.30			

B 関連社会資本整備事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考						
									H22	H23	H24	H25	H26								
合計												0.00									

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考						
									H22	H23	H24	H25	H26								
1-C-2	施設改良	過疎	能代市	直接	能代市	能代処理区幹線管渠への接続管渠の調査	合流管 φ350mm未満 L=25km 合流管 φ350mm未満 L=20.6km	能代市						61.42 61.38	長寿命化						
合計												61.42 61.38									

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-2	A1-14と接続する合流枝線を一体的に調査することにより、老朽化した管渠を効率的かつ集中的に対策を講ずることができる。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- 能代市の防災・減災・安全な市街地の実現に寄与するため、老朽化した下水道施設（能代終末処理場・中川原中継ポンプ場）の改築更新を計画的に行うことにより、事故を未然に防止し、安全性を向上させた。
- アセットマネジメントを導入することにより、予防保全的な管理を行うとともに、ライフサイクルコストの最小化を図ることが可能となった。

II 定量的指標の達成状況	指標①（能代終末処理場における再構築率）	最終目標値	44.7%	目標値と実績値に差が出た要因	能代終末処理場における再構築は、要望額に対し交付決定額が減額となったことで、目標値には達していないが、概ね順調な事業進捗であった。
		最終実績値	43.4%		
	指標②（中川原中継ポンプ場における再構築率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	中川原中継ポンプ場の改築更新は、目標のとおり平成23度末で終了することができた。
		最終実績値	100.0%		
	指標③（中川原中継ポンプ場における長寿命化計画策定率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	中川原中継ポンプ場の長寿命化計画は、目標のとおり平成25度末に策定することができた。（平成26年度に国・県協議終了）
		最終実績値	100.0%		
	指標④（合流区域における管渠の調査実施率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	合流管渠のため、管渠内の土砂が想定以上に多くコスト高となり、目標値に達していない。しかし、平成26年度策定予定であった長寿命化計画については、策定することができた。
		最終実績値	64.0%		
	指標⑤（合流区域マンホール鉄蓋の更新達成率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	合流区域マンホール鉄蓋の更新は、目標値を上回って達成できた。
		最終実績値	100.0%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

- 能代終末処理場の改築更新（1-A1-6）に併せて、管理棟及び汚泥処理棟の耐震化を行うことで、地震災害による被害軽減の効果が期待できる。

3. 特記事項（今後の方針等）

- 本計画においては、定量的指標はほぼ達成することが出来た。
- 今後は、ライフサイクルコストの最小化を図るため、計画的な下水道施設の長寿命化及び耐震化対策を行うことにより、施設の持続的な管理・運営を図る。これにより、能代市の防災・減災・安全な市街地の実現に寄与していく。